

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 7 年 8 月 6 日

設置・運営主体	社会福祉法人 和みの会		
設置主体			
経営主体	社会福祉法人 和みの会		
事業所名 (施設名)	ゆうゆうくじら第2保育園	種別	保育所
所在地	〒 362-0021 埼玉県上尾市原市4004-1		
電 話	048(722)6111		
FAX	048(722)6122		
Email	info@yuyukujira2.com		
URL	https://www.yuyukujira2.com		
施設長氏名	榎 弘子		
調査対応担当者	榎 弘子・越本博美 【所属、職名：園長・主任】		
利用定員	60 名	開設年	平成 22 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念 ゆったりと うけいれて ゆっくりと うなづいて くまなく じっくりと らしさを 育みます</p> <p>保育目標 ・心身の成長を促し、育み、共に分かち合う。 ・年齢に応じた、基本的生活習慣の確立を目指す。</p> <p>保育内容 ・季節の変化に気づきながら、自然に親しみ、触れ合いを楽しむ。 ・遊びを通して友達との関わり合いを広げながら、集団生活の心地良さを感知情緒の安定を図る。 ・自分でしようとする気持ちを育てながら、出来ることの喜びを味わい、基本的生活習慣やルールを理解していく。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	7:00~19:30 7:00~14:00 (土曜日)		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1	6	2
1歳児	8	8	1	8	3
2歳児	10	12	1	12	3
3歳児	12	12	1	12	2
4歳児	12	12	1	12	2
5歳児	12	12	1	12	2
計	60	62			14
（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。					

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		20人	
うち	保育士	15人	保健師・看護師
	栄養士・調理員	3人	その他（委託調理員）2人
非常勤職員数		9人	（常勤換算 人）
うち	保育士	5人	（常勤換算 2人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 0人）
	栄養士・調理員	2人	（常勤換算 0.5人）
	その他（ ）	2人	（常勤換算 1人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤：1	非常勤：0人
	退職	常勤：0人	非常勤：0人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		35歳	（34.9歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		8年	（8年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

(保育所の場合)

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- 10 人

- 乳幼児の保育補助**

その他 4 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	672.61 m ²	
	児童1人あたり	11.2 m ² (計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	160.28 m ²	
	児童1人あたり	2.67 m ² (計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成21 年	

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

ICT機能を活用して、その都度、行事の感想や意見を聞いている。また4月の懇談会の際に保育園の方針、子どもの成長過程における色々なトラブルなどについて理解を求め、日々の送迎時の何気ない会話の中から保護者の意見を聞き出している。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

①自然な流れでの異年齢児交流

7:00~8:30までは1歳児の保育室と2階のホールに分かれて0~5歳児の子どもたちが好きな場所で遊んでいます。年上の子が年下の子の面倒を見たり、毎月のお誕生会や行事の際には年長児が未満児を保育室まで送ったり、行事では司会進行を任せたり年長児としての意識を高めています。

②広い畑で思いっきり遊ぶ

広い畑を広場のように園庭代わりにして四季折々の自然の中で思いっきり体を動かして遊んでいます。遊具がなくても、虫を探したり、葉っぱを使ってごっこ遊びをしたり、乗用カーで競争、鬼ごっこなど思い思いに遊びを展開しています。

③保育と食育が一体化して取り組む保育の実践

行事と食育活動が一体となって子どもの健やかな成長をサポートしています。

対面式、じゃがいも掘り、夏まつり、さつまいも掘り、お楽しみ会、お別れ会など保育園の主要な行事開催日の給食は日常のスタイルとは違った提供にしています。異年齢児でグループを作り年長児がリーダーとなって夏野菜の苗を植えて収穫して給食の材料になっています。

年長児は毎年、ひまわりを植えて観察日記を書いています。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

1 回 (令和 2 年度)